



知立の「知」・愛知の「知」・知恵の「知」の周りを猿渡の「さ」の字が渡る

猿小だより

令和7年5月16日

第2号



4月8日（火）に令和7年度の学校生活が始まり、4月21日（月）には授業参観、22日（火）～25日（金）には個人懇談会（選択制）を行いました。その他にも様々な行事等が行われ、あっという間に1か月が過ぎたように感じます。（左下画像は「1年生交通安全教室」の様子です。ご参加いただいた保護者の皆様、ありがとうございました。）保護者の皆様におかれましては、春休み期間中から本日に至るまで、猿渡っ子の体調管理や新学期に向けて励ましのお声かけ、授業参観等へのご参加など、猿渡っ子へのご支援と本校の教育活動へのご理解とご協力をいただき、大変感謝をしております。

さて、ゴールデンウィークが開けました。猿渡っ子は新しい学級にも慣れ、たくさんの子が元気に過ごしています。その一方、新しい環境の中で猿渡っ子も保護者の方も不安や心配事を感じることもあるかと思ひます。本校職員は学級担任を中心とした全職員のチーム体制で、子供たち一人一人の言動を注意深く



見守り、個々の特性の理解を図ってまいります。何かありましたら学級担任をはじめ本校職員にお声がけください。保護者・地域の皆様とともに猿渡っ子の健やかな成長のために力を尽くしてまいります。今後ともよろしくお願いいたします。

4月21日（月）、授業参観を行いました。

4月21日（月）、2時間目に授業参観を行いました。多くの保護者の方にご参観をいただき、ありがとうございました。学級開きを終えて2週間足らずのところでの授業参観でしたが、猿渡っ子は真剣な表情で学習課題に向き合い、一生懸命考えたり、発言したりする姿が見られました。



【あおぞら組「かかわり活動 アドジャン」】



【1年「あいうえおのうた」】



【2年「ひょうとグラフ」】



【3年「あなたのこと 教えて」】



【4年「学級目標を考えよう」】



【5年「敬語を使おう」】



【6年「生活時間をマネジメントしよう」】

猿渡小学校は、令和7年度から「コミュニティ・スクール」導入、開設準備に入ります

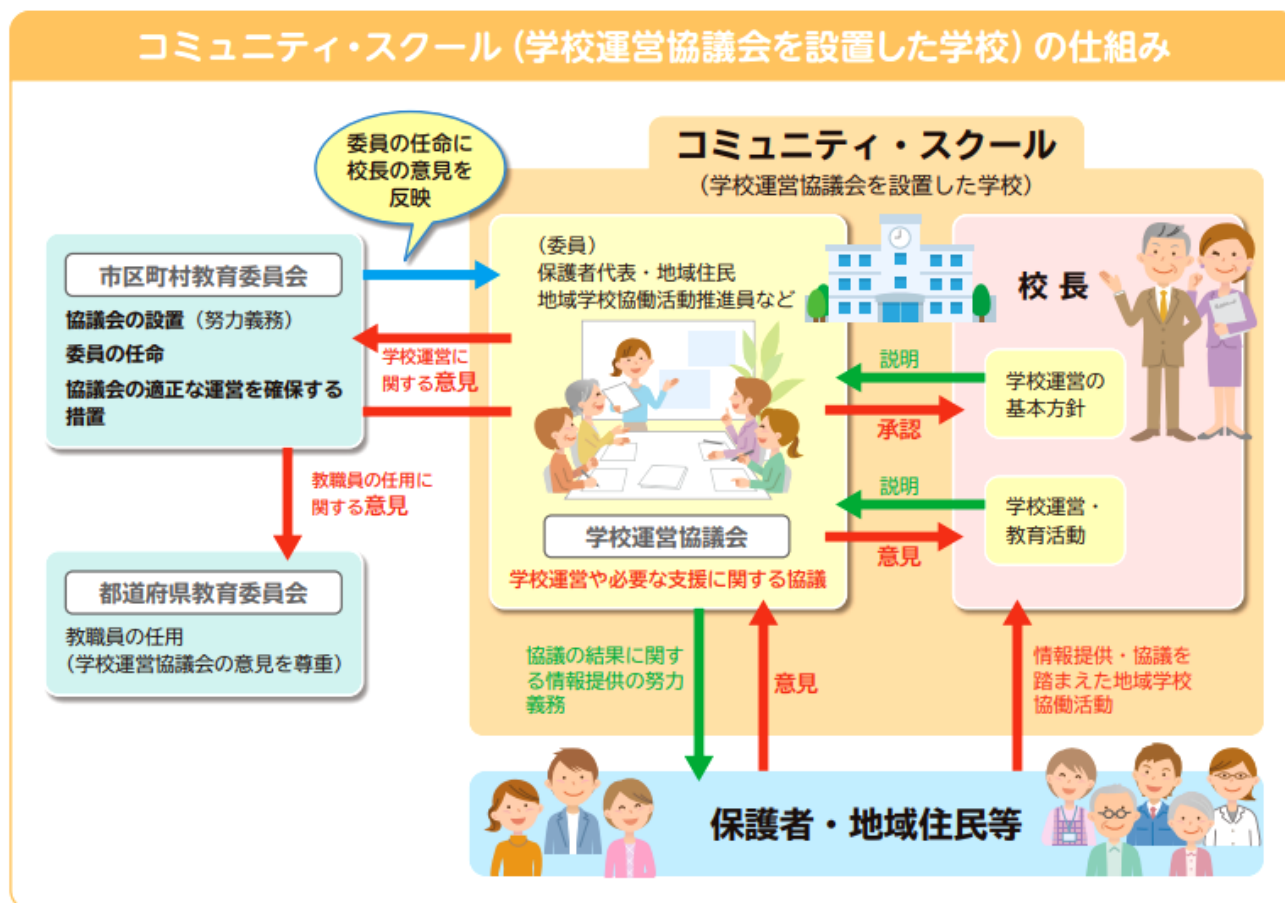
【コミュニティ・スクール」導入、開設の経緯】

知立市が導入を進めている「コミュニティ・スクール（以下、CS）」は、学校・家庭・地域が一体となって、「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて、保護者や地域の皆様と情報や課題を共有し、「これからの時代を生きる子供のために」という共通の目標・ビジョンを設定し、日々の教育活動を進めるものです。知立市では、中学校区ごとに小中連携のCS構築を進めています。令和6年度は知立南中学校区（知立南中・知立東小・知立南小）、令和7年度は竜北中学校区（竜北中・知立小・来迎寺小）、令和8年度は知立中学校区（知立中・猿渡小・知立西小・八ツ田小）で導入されます。

【コミュニティ・スクールとは？】

CSとは、「学校運営協議会」を設置した学校のことです。市内小中学校に設置する学校運営協議会は、学校と保護者や地域の皆様の中から15名以内で構成されます。「地域と学校はパートナーである」として活動を進めます。「学校運営協議会」委員としてご参加いただく保護者や地域の方には、本校の「教育目標」や「重点努力目標」を共有し、子供たちの健全育成に向けたご意見をいただき、学校教育活動の改善を図っていきます。子供たちの学びを充実させるとともに、将来、地域の一員として活躍する子供たちの成長について、保護者や地域の皆様と一緒に考えていくことができると幸いです。地域の拠点としての学校づくりは、子供たちを夢や希望、明るい未来へとつなぐ道につながっていると考えています。

コミュニティ・スクール（学校運営協議会を設置した学校）の仕組み



出典 文：知立市教育委員会「コミュニティ・スクールリーフレット」 図：文部科学省「これからの学校と地域」

たくさんの花が
咲いています

正面玄関前
ロータリー

地域の方が育てた玄関の花

中庭の
カキツバタ